



長淵地区では、令和2年に3回の地域のささえあいを考える会を開催しました。それぞれのグループで助け合いゲームを行い、助ける側と助けてほしい側の気持ちを体験したり、住んでいる地域で行われている活動の情報交換や、地域に実際あるといいなと思う活動などについてグループワークを行いました。そこでのつながりを通してできたグループが「たまりば」です。

長淵地区は、多摩川を挟んだ両側に位置する地域であること、長淵地区のいろいろな場所から寄り集まれる場をつくることから、TAMA RIVER→溜り場→「たまりば」と名付けられました。

～話し合いを重ねる中で、こんな話がありました～



地域の中に孤立している高齢者の方がいるが心配

でも、お茶会などに誘っても断られてしまうのよね・・・

自治会や高齢者クラブにも入っていないし、同じ地域の住民としてどう支えられるだろう？

話し合いの中で、地域には犬のお散歩グループや小さなご近所付き合いなどいろいろなグループがあることがわかりました。



支える側も支えられる側も負担感が少ない見守りがおこなえるといいな・・・

毎日の犬の散歩の
ついでに、穏やかな
見守りや声かけ。
できる範囲のお手伝い。



普段のご近所同士の集まりや、
あいさつの中で、「最近、雨戸が
閉まりっぱなしなのよ」「そうね。
最近あまり見かけなくなったわね」
などの気づきが見守りの一歩

地域にあるグループそれぞれが、孤立している高齢者の異変に早く気がつくことができれば、支えあう糸口が見つかるかも。そしてかかわりが難しい時など、どこに相談したらいいかがわかるような、支えあいのシステム作りにむけて現在「たまりば」は話し合いを継続しています。